



AIYES 通信

横浜スペイン交流協会会報

1999年1月1日発行 第18号 発行・横浜スペイン交流協会事務局

年頭のご挨拶

横浜スペイン交流協会 会長 下山 貞 明

あけましておめでとうございます。

1999年の新春を迎え皆様の御多幸を心から祈念いたします。

日頃、当協会の事業の推進にあたり多大な御協力と御理解を賜り心から厚く御礼を申し上げます。

昨年を省みますと、すでに会報にてご紹介をしておりますが、新年早々に、ロルカ生誕100年を記念して小海永二先生の講演から始まり、2月は第3回「さくら植樹」スペイン友好親善訪問の旅、9月はロンダ市ペドロ・ロメロ祭公式招待訪問、10月は会員相互の親睦を深めるための会の開催、更にスペイン語教室の充実などがありました。

11月末には、元スペイン大使の林屋永吉先生（当協会の顧問）の講演により協会の主な事業を終了いたしました。

この1年間の多彩な事業の執行にあたっては、会員各位のたゆまぬ努力と御協力、併せて各関係機関の深い御理解によるものと心から感謝を申し上げます。

2000年には、当協会の創立10周年となりますので、その記念事業を実施いたしたいと考えております。本年は、そのための準備年度として位置づけまして、皆様方の英智と積極的なご協力をお願いする次第であります。

幸いにも、林屋永吉先生をはじめ、このたび、前スペイン大使をなさっておられた坂本重太郎様の協会顧問の御就任をいただきましたので、今後の御指導と御力添えを期待しているところです。

本年は皆様方とともに心を新たにして、新しい視点に立って未来への展望を切り拓き、横浜スペイン交流協会のいしづえを固めてまいりたいと存じます。

どうか、皆様方には更なる御支援と御協力をたまわりますよう重ねてお願い申し上げまして年頭のご挨拶といたします。



▲ロンダ市副市長（右）と贈物の交換をする下山会長（左）。

★会員皆様のご協力をお待ちしています！

協会設立10周年記念行事アイデアとスタッフ募集

明年2000年は、当協会設立10周年を迎えます。そこで、2000年4月から7月までの3ヶ月間を「設立10周年記念事業期間」と位置付け、各種のイベントを開催して行きたいと考えています。

この事業計画の立案から、実施計画、実施活動等にご参加、ご協力いただけるスタッフとアイデアを募集しています。

現在のところ、ロング市より市長をはじめとする、文化使節団の招待、10周年記念式典、スペインフェアの開催などの案が出ています。

しかしながら、これらをどのように展開していくか、また各関係機関との折衝等、具体的なところはまだ決まっておりません。それに、これらの実施については、問題が山積しています。

ぜひとも会員皆様のご協力が必要です。例え些細なことでも結構です。ぜひともご協力ください。また、記念行事に関するアイデアがありましたら、お教え下さい。お待ちしております。

皆んなの手で、10周年記念事業を成功させましょう！

協力スタッフのお申し込みは

手紙、またはFAXの場合：〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町2-14-2

かながわ県民活動サポートセンター レターケースNo. 184

横浜スペイン交流協会10周年記念事業委員会宛

電話・FAXでのお問い合わせ先：伴野芳信

：朝倉 郁

会員親睦会 開 催

新しい友との出会い

昨年10月25日、かながわ県民サポートセンターにおいて、第1回会員親睦会が行われ、下山会長、植田・齋藤両副会長をはじめ、20余名が出席しました。数名の新会員の参加もあり、まず各自の自己紹介から始まりました。

2000年が当協会の設立10周年に当たることから、記念行事をどのようにしたらよいかと会員相互、意見とアイデアを出し合って話し合いをしました。

また、新しく制作された協会旗が披露され、同時に参加者全員に会員章のバッジが配られましたが、美しく可愛いバッジにみんな大喜び。

さっそく胸に着ける人の姿もみられました。

新しく知り合った人たちが、早速帰りに連れ立ってお茶を飲みに行く場面も見られ、新しい出会いや、横のつながりを深めるために大変良い機会になったことと思います。

なお、前回参加できなかった会員の皆さんは次回または次々回にはぜひともご参加ください。



▲第1回親睦会では、新しい多くの出会いがあった。

第一回親睦会に出席して

渡部伸代

協会の皆様、はじめまして……。

今年6月に会員になったばかりで、この協会がどんな活動をしているのか、これから徐々に知りたいと思っておりました。その矢先、相澤様より親睦会に出席してみないかというお誘いを受け、出席させていただきました。ところが、この親睦会の記憶もおぼろげになりかけた頃になって、その感想を寄せるように言われ大いに戸惑っているところです。そんなわけで、もし記憶違いがありましたら、お許しを頂きたいと思います。



会は、まず会長と副会長のご挨拶から始まりました。特に植田副会長さんは参集者の中の大先輩とお見受けしましたが、とてもカクシャクとしていらっしゃる「生涯にわたってご活躍頂きたい」と願う会員の皆様の温かい眼差しを感じ、何て素敵なボランティア団体だろうかと思いました。

次に会員が自己紹介を兼ねて、ご自分とスペインとの関係、またこの協会との関わりについて、それぞれの思いを込めてお話しされました。

私のスペインに対する思いは、決して人後に落ちないと自負していたのですが、皆様の語る熱き思いに「もう負けそう！」でした。

この日の議題は、2年後に予定されている協会設立10周年記念行事についてでした。まだホヤホヤの新会員の私は、残念ながらこれと言った特別なアイデアは持ち合わせておりませんでした。しかしこのような大きなイベントをスムーズに遂行するためには、ある程度、行政の協力も必要になるのではと思いましたし又、それなりの経費も必要になると思われますので、イベントを兼ねたバザー等をやってみてはいかがでしょうか？と思いました。

いずれにしても協会の行事にはできるだけ参加させていただき、「あー楽しかった！ 参加して良かった！」と心の底から思えるようなものに、協会の一員として皆様と共に盛り上げて行きたいと思っております。

人との出会いを大切にしたいと願う私は、可愛らしい出来立ての協会のバッジを胸に、初対面にもかかわらず意気投合した何人かの方々とベイシェラトンホテルへ二次会と相成りました。

¡Feliz Navidad Y Año Nuevo!

第2回・第3回親睦会のご案内

◇第2回親睦会 日 時：1999年2月7日（日） P.M. 2：00～3：30
場 所：かながわ県民サポートセンター 709号室
定 員：25名
参 加 費：無 料

◇第3回親睦会 日 時：1999年2月27日（土） P.M. 2：00～3：30
場 所：かながわ県民サポートセンター 303号室
定 員：25名
参 加 費：無 料

■申し込み方法：2週間前までに、電話またはFAXにて下記のいずれかにお申し込み下さい。

■申し込み先

石川美知子
寺原 瑛子

海外旅行スペイン語特別講座開催のお知らせ

昨年9月「海外旅行スペイン語実践集中講座」が開かれ、大好評を拍しました。しかしこの時は、当協会のスペイン語講座受講者を対象として行われましたので、今回は下記要領で一般会員および非会員を含め、スペイン、中南米への旅行を計画の方、またスペインや中南米に少しでも興味のある方等を対象に「旅行会話特別講座」を開催します。

スペイン、中南米へいつかは行ってみたいと考えている方、またスペイン語を習いたいと思っているが、むずかしそうだと思案中の方にはすぐ役立つ、簡単で実用的なこの講座は最適だと思います。ふるってご参加ください。

日 時：全3回

1999年2月9日（火） A.M. 10:30～12:00

2月16日（火） A.M. 10:30～12:00

2月23日（火） A.M. 10:30～12:00

場 所： かながわ県民サポートセンター 7階709号会議室
（JR横浜駅西口より徒歩5分、三越デパート裏）

講 師： 栗山由美子（当協会スペイン語講座講師）

会 費： 会員 3,000円 一般 3,700円（いずれも全3回分、当日会場でお支払い下さい）

教 材： 海外旅行スペイン語ハンドブック（池田書店）

900円（市販価格950円＋消費税）会場でも販売します。

定 員： 23名（申し込み先着順／定員になりしだい締め切らせていただきます）

下記のいずれかに、

お申し込み下さい。

申 込 先： 相澤百合子

寺原 瑛子

松本 益代



▲昨年9月開催の「海外旅行スペイン語実践集中講座」風景。
参加者から楽しい勉強との声があがった。



◀ ロンダ市「ベドロ・ロメロ祭」のバレード。この祭に、ロンダ市より当協会が、公式招待を受けた。

サラゴサ大学・教授法夏期講座に参加して

— 栗山由美子 —

1998年8月3日から14日までの2週間、スペインでスペイン語教師のための夏期講座に参加しました。これは国立サラゴサ大学とセルバンテス協会が共催し、外国語としてスペイン語を教える教師を対象としたものです。今回はその報告をしたいと思います。

そもそも私がスペイン語を教えるようになったのは、いまから12年前に、港南区ひまわり親善国際交流協会主催によるスペイン語講座の講師を友人から頼まれたのがきっかけです。この「ひまわり」は当協会の下山会長が港南区の区長時代に創設されたものです。市民講座、横浜スペイン交流協会、短大、企業などこれまでスペイン語を様々な世代、様々な職種、そして様々な段階の方々に教えてきましたが、総てが言ってみれば我流。スペインを愛し、私なりに天職だと思っているこの仕事ですが、ここで自分の教え方を見直してみたい。その上で少しでも授業展開の上で参考となるものを吸収したい。それに一か所に腰を落ちつけてスペインの青い空を心行くまで眺め、新しいスペイン人の友人を作りたい（実はこれが最大の動機！）。僅か2週間とはいえ、久しぶりに訪れたスペインで勉強が出来るこの機会。期待に胸膨らませ、私は講習会が開催されるピレネー山脈の麓に位置する避暑地、ハカ（Jaca）に赴きました。ここは中世アラゴン王国の最初の都で、標高800Mに位置し、長野と冬季オリンピックの開催地を競った所です。

第一日目、教室に入り私の胸は高鳴りました。34人の参加者の内、外国人は僅か4人。2名のイタリア人女性と1名のギリシャ人男性。そして東洋人はなんとこの私一人。

黒い髪に黒い目はさすがに目立つらしく、一時間目の授業から「どこから来たのか。どの位教えているのか。これを読んでみなさい。日本ではこれに関しての理解度はどんなものか。」と先生から矢継ぎ早に質問されるのです。先生方は30人のスペイン人生徒（主に30代・40代の人達で、ヨーロッパの各地でスペイン語を教えている人がほとんど。後はスペイン国内の小中学校でスペイン語を国語として教えている人）を相手にどんどん授業を進めて行きます。

生徒側も自分の仕事のこやしにしようと参加しているので真剣そのもの。コメントを述べ、質問をし、実に真面目です。これはしめた。¡Que suerte! まさにスペイン人の真っ只中で勉強できるのです。

授業内容は、教授法に関するものと、文法などアカデミックな言語に関するものが、全体の8割。残りの2割は現代スペインの社会・芸術・文学などに関するものでした。教授法に関しては、授業の進め方、テキストの選び方、課題の与え方、評価の仕方等々。

ローマにおいて上級と中級クラスの生徒が一年の締めくくりに劇を演じたビデオが紹介されたり、参考になることが数多くありました。私がこのコースを通して痛感したのは、言語を教える上で文法事項の習得が土台であり、その上で如何にしたらcompetencia comunicativa（伝達能力）を高められるかに焦点が当てられているということです。

文法が分かっても話が通じなかったらダメなのです。しかし授業で紹介された方法がすぐ日本人に適應できるかというと、そう簡単ではなさそうです。スペイン人の先生方も異質な言語体系を持つ日本のことなど殆ど視野に入っていないのです。



▲Jacaで行われたスペイン語教師のための講座に参加した受講生と筆者（中央）。

私としては学べるものは学び、よく考え、あとは自分なりに工夫してゆくことが大切。当たり前と言えは当たり前なことですが、これが今回の実感です。もっとも工夫の余地が大きい分、これからが楽しみとも言えます。

スペイン人の友達に関していえば、仲良くなったのはアテネで教えている Gregoria。彼女にはギリシャ人の婚約者がいてギリシャに永住する覚悟です。スペインのムルシアで小学校の先生をしているシングルマザーの Juana、サラゴサ大学の外国人コースでスペイン語を教えている Maria。皆30代の女性です。どの人も本当に気さくな人達で意気投合し、職場のこと、家庭のこと、女性の社会的地位、スペインの社会の現状等々、日本の様子も含め思う存分夜が更けるまでお喋りして来ました。いつも家庭にいて良き妻、良き母であれとプロトタイプにはめ込まれていたフランコ時代の女性像は、彼女達の中には全くありませんでした。こうしたスペインの友人から特に私が感じたのは、彼ら、彼女らの底力とファイトです。スペインの若者の失業率が高い中、自分の仕事を放すまいと各自が必死なのです。スペイン社会を担っているこれらの友人のたくましさ、頼もしさは鮮烈な印象となって今でも私の心から離れません。

会員投稿

スペイン語会話入門コース (B) に参加して

クラス委員 朝倉 雅子

かねてからスペイン語入門コースに参加したいと多くの方々からご要望が、スペイン語講座委員会に寄せられていました。幸いにジョランダ・角田先生がご都合くださり、6月から入門コース(B)が開講になりました。現在20名の生徒がいます。

最初は先生も生徒も恐る恐ると顔をうかがいながらの授業でした。なぜなら、もう相当前からスペイン語の学習を始められている方、かたやまったく初めての方が居り、学習レベルがさまざまだったからです。さぞかし先生はどのように授業を進めるか悩まれたに違いありません。回を重ねるごとに先生と生徒の間で、少しずつ心が開かれてきて気持ちが通いあうようになってきました。

最近では驚くばかり、皆がよく予習をしてくるように見えます。先生も生徒の中に溶け込んで授業を楽しむして下さいます。

先生がお話し下さる内容も、私なりのカンを働かせながら、おおよそ理解できるようになり、楽しく受講しております。

先生は生徒の要望を聞きながら授業を進めて行くお考えですので、どんな事でも言って下さいと言われていきます。

私は先生を信頼し授業について行こうと思っています。Poco a Poco, ゆっくりのんびりをモットーにして、スペイン語の学習を楽しんでいこうと思っています。



▲セビージャのフェリアに参加した筆者(右)。

『私とスペイン』

講師：元スペイン大使・横浜スペイン交流協会顧問 林 屋 永 吉 氏

11月28日（土）、かながわ県民サポートセンターにおいて、元スペイン大使で、当協会の顧問である林屋永吉氏に、「私とスペイン」と題して氏とスペインとの深い関わりについてお話を伺いました。

以下、氏のお話の概要をお伝えします。（文責／石川美知子・スペインサロン担当理事）

学生時代にスペイン語を始め、第2次世界大戦前に外務省の留学生としてスペインに渡り、サラマンカで勉強をした。当時のスペインは内乱が収まった直後のことで、荒れ果てており、汚い街の印象が強かったが、女性だけは美しく輝いて見えた。

当時のスペインは反米、反英感情が強く、日本の真珠湾攻撃やフィリピン占領のニュースはスペイン人たちを喜ばせた。また彼らは非常に日本に対して友好的であった。しかし、スペインの経済は悪く、食料の配給は質、量ともにひどいものだった。娯楽の少ない若者たちは、男女が広場で輪になって、お互いが逆回りしながら、出会いと交際場をつくっていた。



▲林屋氏のお話は、参加者全員を魅了した。

学業終了後、公使館に入った。その後日本の戦況が悪化し、1945年3月スペインは日本と断交、公使館も封鎖された。しかし一般のスペイン人は日本に対して同情的で、慰めてくれた。

スペイン人は、元来臨機応変、変わり身の早い国民であり、反面彼らにとって基本となる大切な事では譲らず、信念を守り通す強さを持っているといえる。

そのためか、以後のスペインは各国とうまく協定し、非常な経済成長を遂げていく。

1981年大使として再びスペインに行ったが、翌年社会労働党が政権を執り、持ち前の変わり身の早さと信念の強さから政治も安定的になっていく。

大使時代にはスペインの17の地方を巡り、多くの人々と会ったが、グラナダでは偶然にも戦時中私を励ましてくれた仲間と再会し、大いに喜び合った。そして、最近では縁のあるサラマンカ大学に文化交流施設を建設して交流を深め、さらに天皇皇后両陛下のスペインご訪問先に、サラマンカを推して両陛下に喜ばれている。

このようにして林屋氏は現在、サラマンカを中心として、スペインとの交流に力を注いでいらっしゃることでした。

林屋氏のお話は、まさに生きたスペインと日本との関係史ともいえるような内容で、とても少ないこの会報のスペースでは紹介しきれないものでした。講演終了後、参加者の中から、連続講演のかたちで、林屋氏の講演会をつづけて欲しいとの要望が出たほどでした。

スペイン語教室へお誘い

教室とも数名の欠員があります。協会会員は、優先受付します。教室の見学は自由です。気軽にのぞいてみてください。

お問い合わせは：横浜スペイン交流協会スペイン語講座委員会☆松本
☆寺原
☆相澤

クラス名称	栗 山 教 室		高 柳 教 室		ジョランダ教室		
	セレソ	スペイン語で新聞雑誌を読む会	アマポーラ	ヒラソル	会話初級コース	会話入門コース(A)	会話入門コース(B)
内 容	文法修了者対象に、授業はスペイン語で行われる	スペインの現代の動きを把握する	文法修了者対象に、テキストによる講読、基本短文応用の会話練習、ビデオによる聞き取りなど		小グループによるスペイン語自由会話	1997年4月開講の基礎会話	1998年6月開講の基礎会話
テキスト	VEN-(1), VEN-(2) 副教材	その都度プリント	PLAYA DORADA	PLAYA DORADA	Historias Para Conversar (Básico)	スペイン語との出会い	スペイン語との出会い
日 程	月3回(注) 土曜日 10:30~12:00	月1回 第4土曜日(注) 10:30~12:00	月3回(注) 金曜日 10:30~12:00	月3回(注) 水曜日 10:30~12:00	月3回(注) 金曜日 18:30~20:00	月3回(注) 金曜日 10:00~11:30	月3回(注) 木曜日 13:00~14:30
定 員	16名	16名	20名	20名	10名	20名	20名
会 員 料 金 (1日あたり)	1,000円	2,000円	1,000円	1,000円	1,500円	1,000円	1,000円
会 場	横浜市国際交流ラウンジ (山下公園前 産貿センター3階)		サンライフ (JR戸塚駅東口徒歩5分)		かながわ県民センター7階 (JR横浜駅西口徒歩5分 三越デパートの裏側)		

(注) 月3回とは、原則として第1週から第3週です。また授業日が祝祭日のときは翌週に繰り下がります。

桜植樹をしたロンダ市でスペイン語を学んでみたい方へ

ロンダには市とマラガ大学が提携して設立した公立の外国人のためのスペイン語学、マラガ大学分校があります。

その場所は、なんと観光の名所で、かつてアラブの王様が別荘にしていた歴史的建物、モンドラゴン宮の中にあります。

お天気のいい日は美しいパティオでも授業が行われます。小規模、小人数で先生方とはとても親しくなります。また人口3万7千人の小さなロンダ市でのホームステイは、あたたかいロンダの人々との交流の機会が多くあるので、スペイン語を話す機会にも恵まれて上達も速いと思われます。

大都会の学校とはひとあじ違った体験ができます。

コースは7, 8, 9月の夏季講習と、その他の月の2, 3, 4週間の集中コース、およびスペインの歴史、文化を学ぶコースがあります。

詳しい「パンフレット(英語版)」と「申し込み用紙」はスペイン語教室の各委員、あるいはスペイン語講座委員会まで。

講座委員会連絡先：中村瑛子
松本益代

編集後記

あけましておめでとうございます。AIYES通信1999年の第1号をお届けします。

昨年は2度に渡るスペイン訪問、講演会や親睦会の開催など大いに充実した年でした。

来る2000年は、当協会設立10周年に当たります。数多くのイベントが予定されていますが、本年はそのための準備の年です。会員の総力を挙げて成功させましょう。皆様のご協力をお待ちしています。

* 投稿寄稿宛先 〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2 かながわ県民センター内
かながわ県民活動サポートセンター
レターケースNo184 横浜スペイン交流協会会報係